【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【公開番号】特開2016-8883(P2016-8883A)
【公開日】平成28年1月18日(2016.1.18)
【年通号数】公開・登録公報2016-004
【出願番号】特願2014-129464(P2014-129464)
【国際特許分類】
Ｇ２１Ｃ　19/02　(2006.01)
Ｇ０１Ｆ　23/18　(2006.01)
Ｇ２１Ｃ　17/035　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ２１Ｃ　19/02　Ｆ
Ｇ０１Ｆ　23/18
Ｇ２１Ｃ　17/02　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成28年11月4日(2016.11.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
原子炉圧力容器と、
前記原子炉圧力容器を格納する格納容器と、
前記格納容器の上方に位置する原子炉ウェルと、
前記原子炉ウェルの上部を閉塞するウェルカバーとを備えた原子力プラントにおいて、
前記ウェルカバーに挿通して設けられ、前記原子炉ウェルに注水を行う注水ラインと、
前記原子炉ウェルの床面に接続され、前記原子炉ウェルの水抜きを行うドレンラインと、
前記ドレンラインに一端が接続された検出配管と、
前記検出配管の他端に接続され、水頭圧によって前記原子炉ウェルの水位を計測する差圧式水位計と
を備えたことを特徴とする原子力プラント。
【請求項２】
請求項１に記載の原子力プラントにおいて、
前記検出配管は、前記ドレンラインから前記差圧式水位計に向かって上り勾配を有することを特徴とする原子力プラント。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の原子力プラントにおいて、
前記差圧式水位計は、隔膜式水位計で構成されていることを特徴とする原子力プラント。
【請求項４】
請求項１乃至３のいずれか１項に記載の原子力プラントにおいて、
前記検出配管に接続された水張りラインを更に備え、
プラント運転中に前記水張りラインを介して前記ドレンラインの所定の水位まで注水し、前記検出配管を満水待機させることを特徴とする原子力プラント。

【請求項５】
請求項１乃至３のいずれか１項に記載の原子力プラントにおいて、
前記検出配管に接続された洗浄用ラインを更に備えたことを特徴とする原子力プラント
。